

中央公民館 大栄分館新築工事 ニュース

VOL.
04
2026年9月

開館準備委員会より一言 「骨組完成！いよいよ建物の『形』が見えてきました」

皆さんこんにちは！朝晩は少しずつ涼しさを感じる季節となりましたが、現場では熱中症対策を怠ることなく安全第一で作業を進めています。8月に組み上がった鉄骨のフレームに続き、9月は床や屋根、外壁といった建物の「外枠」と電気や水道などの「設備」の工事が同時に始まります。地域の皆様の憩いの場が少しずつ形になっていく様子をぜひ見守ってください。



中学生のかわいいイラストが増えました(手前)

先月の進捗 8月はこれをやりました！

8月は鉄骨建方を進め、建物の全体像がしっかりと姿を現しました。鉄骨の柱の「建入れ直し」による精度管理を徹底し、安全に骨組みを完成させています。その後、床の土間配筋や外周部の型枠組立て、外部足場の設置を行い、建物全体を覆うような準備を整えました。



外周部型枠組みの様子



土間配筋の様子

今月(9月)の予定:内部の設備工事がスタート！

9月は、建物の強度を高める「1階・2階の土間/床コンクリート打ち」を行います。また、雨風を防ぐための「屋根工事」や「外壁部分のサッシ枠取付」を進め、外部足場工事も継続していきます。さらに建物の内部では、電気・空調・換気設備の配線・配管作業に着手し、建物としての機能を吹き込んでいきます。

🎁 お知らせ:愛称決定に向けた「町民投票」がいよいよ始まります！

皆様から多数ご応募いただいた施設の「愛称」につきまして、たくさんのステキなアイデアをありがとうございました。開館準備委員会にて選定した10作品の中から、新しい公民館の愛称を決める「町民投票」を9月～10月にかけて実施いたします！投票方法や候補などの詳細は、町のホームページや広報等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

現場の工夫

コンクリート打設と高所作業の安全徹底(安全第一) 1階・2階のコンクリート打設作業および継続する足場・屋根などの高所作業において、作業員同士の声掛けとフルハーネスの着用を徹底します。また、残暑による体調不良を防ぐため、計画的な水分・塩分補給と休憩の確保を継続します。

防水性能と設備配線の精度確保(品質管理) サッシ枠の取付けや屋根工事では、将来の雨漏りを防ぐため防水処理の施工精度を厳密にチェックします。また、先行して始まる電気・空調等の配線・配管作業では、今後の内装工事に影響が出ないようにミリ単位の位置確認を行い施工を進めます。

🌲 おしらせ & トピックス 🌲

木質化 第2弾

地元の森の恵みを現場へ届ける「木のバトンリレー」

～伐採・加工から施工まで、北栄町と地域事業者がひとつになって進めています～

地元の木材を使う「3つのイコト」

- 1.【作る】地元の林業・加工業が元気に！: 県内の森から切り出し地元の工場で加工。地域の中でお金と雇用が回る
- 2.【運ぶ】CO2を減らして環境にやさしい！: 遠くから運ばないためトラックの排気ガスを削減。地球温暖化防止に貢献
- 3.【育てる】山の手入れが進み災害に強い町へ！: 木を使うことで植林や手入れが進み、土砂災害を防ぐ森が育つ